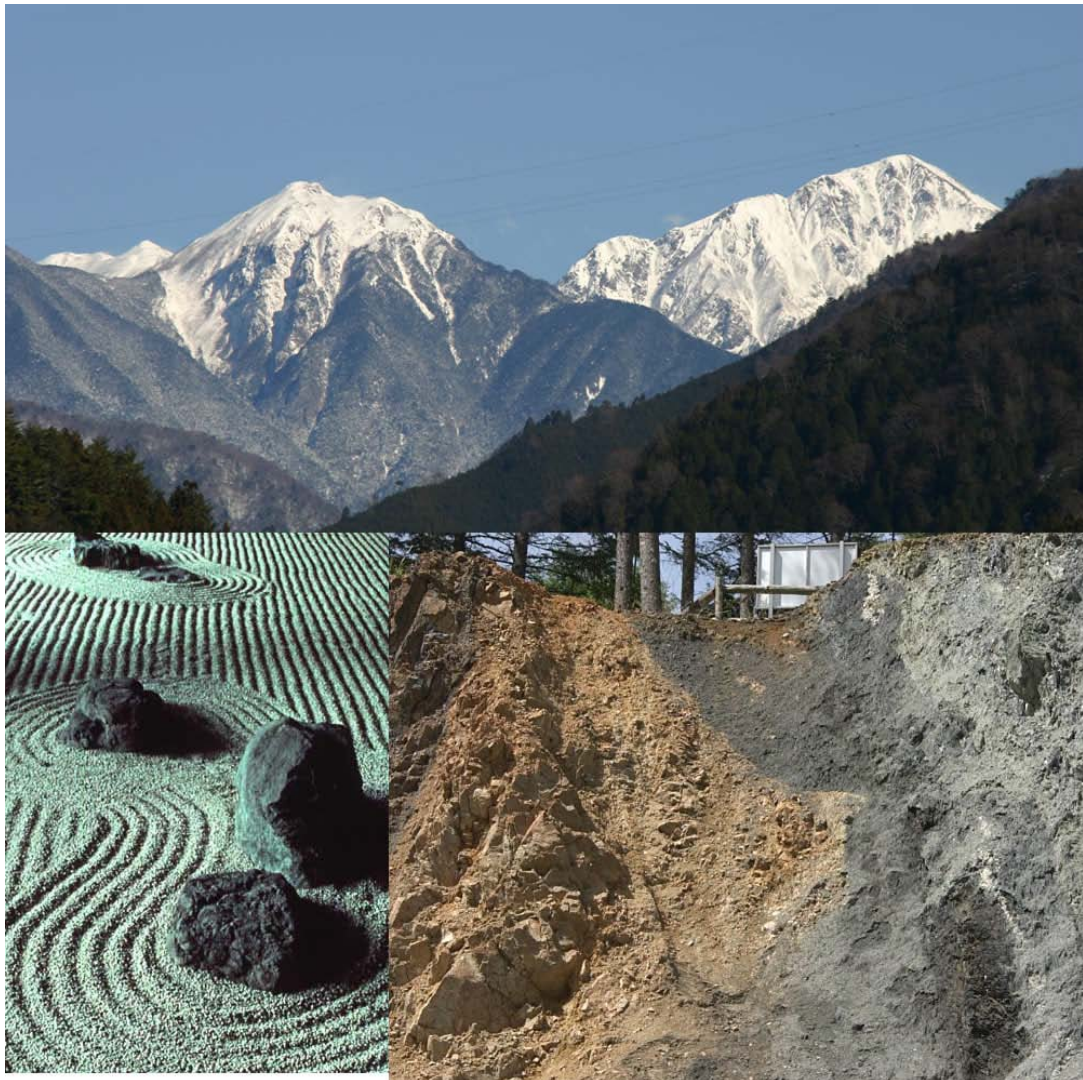


第8回

遠山藤原学校

中央構造線・遠山郷枯山水 体験研修

—日本列島の神秘、中央構造線の断層と石を学ぶ—



研修日程：2010年5月1日（土）・5月2日（日）の2日間

研修場所：長野県諏訪市から飯田市南信濃地区（遠山郷）まで

研修主催：シンクタンク藤原事務所

研修協力：遠山郷観光協会

< 1、研修の内容 >

このたびは、第8回遠山藤原学校—中央構造線・枯山水体験研修の資料請求をしていただき、まことにありがとうございました。ご存知のように中央構造線とは日本列島を東西に貫く大断層で、ちょうど長野県の諏訪から遠山郷を経て静岡県佐久間までは、国道152号線沿いに走っています。この断層は日本列島の誕生に深くかかわる断層で、依然として神秘的な部分が多く、断層沿いには不思議な温泉や地形が点在しています。また断層の周辺の断層破砕帯ではもろい地質のために侵食によって谷が形成されやすく、古代から都と信州を結ぶ重要な街道として利用されてきました。しかし近代になると、もろい地質のために自動車を通れる道路を作るのが難工事で、国道152号線も2ヶ所が未開通となっており、地図上にそこが点線で示されていることから、点線国道と呼ばれることがあります。

この研修では1日目に中央構造線沿いに走る国道152号線を長野県の諏訪市から飯田市遠山郷まで、みなさんと自家用車に分乗して下っていきます。そして2日目の遠山郷では、中央構造線沿いに移動する途中で参加者各自に拾っていただいた石を使って、ご自身で手軽に楽しめる枯山水を作ってください、お持ち帰りいただきます。さらに2日目の午後には、世の中の動きが急ピッチになっていますので、藤原直哉が『激動の時局と日本の未来』というタイトルで講演をさせていただきます。

毎年恒例の早春の研修となりますが、例年大変多くの方に来ていただいております。今年も多くの方に来ていただき、断層と石をテーマに、日本列島の不思議を実感していただければと思います。

以下、体験研修の概要をご紹介します。

なおこの研修は、**基本のご自身の自家用車でご参加いただく研修**です。もし自家用車のご利用でなくご参加の場合には、**藤原事務所の車に分乗していただきますので、お申し込み時にお知らせ下さい。**また道路に不通箇所があったり危険だったり悪天候の場合には、**臨機応変に迂回します。**特に今回の行程では、**分杭峠と、地蔵峠から南信濃の間は、道や天気が崩れると行かれなくなる可能性がある**ので、**あらかじめご了承下さい。**また山道のため、**自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。**

まず、研修は長野県の諏訪市から始まります。諏訪市に面する**諏訪湖**はとても有名な湖ですが、実はこの湖の下では日本列島を東西に貫く**中央構造線**と、日本列島を南北に貫く**糸魚川静岡構造線**という2大断層が交差しています。そのため、諏訪湖も湖底に貯まった泥を除くと、本当の湖底は底知れず深いのだそうです。しかもその交差点で糸魚川静岡構造線が横にずれて中央構造線を一部分断しているのです。諏訪は**縄文時代**に青森と共に日本の中心のひとつだったと言われていますが、依然として謎の多い場所です。

そして集合は、信濃国の一之宮である**諏訪大社上社本宮**近くの、トライブインこだわり横丁前の駐車場です。ご存知のように諏訪大社では7年に一度、**御柱（おんばしら）**と呼ばれるお祭りがあり、男たちが巨大な御神木を神社まで運びます。実は御柱というお祭りは遠山郷にも伝わっていて、遠山郷にある諏訪神社に、7年に一度、何と今年、御神木が奉納されます。これも中央構造線沿いに文化が入ってきたものと思われま。

諏訪大社上社本宮前を出ると、国道152号線はすぐに急な上りになり、高度差400メートルをたった3キロで上って**杖突（つえつき）峠**（標高1247メートル）に至ります。この急な上り坂は断層のずれによって生まれたものです。杖突峠からは天気が良ければ霧が峰方面の山々がよく見えます。そして杖突峠から南に緩やかに坂を下ると、桜や大奥の江嶋（絵島とも書く）で有名な**高遠**に至ります。ここから南の分杭（ぶんぐい）峠に向けて坂を上ります。この国道152号線は**秋葉街道**とも呼ばれ、近世は遠州の**秋葉山**に通ずる信仰の道でしたし、それ以前の戦国時代には甲斐の**武田軍**の軍道でもありましたし、時代を超えて塩を運んだ**塩の道**でもありました。

途中、中央構造線の露頭（ろうとう）が見える**溝口の露頭**に立ち寄り、断層の左右で全然岩石の色が違う様子を見ていただきます。そしてさらに南下して峠を上ったところが、**ゼロ磁場**として有名な**分**

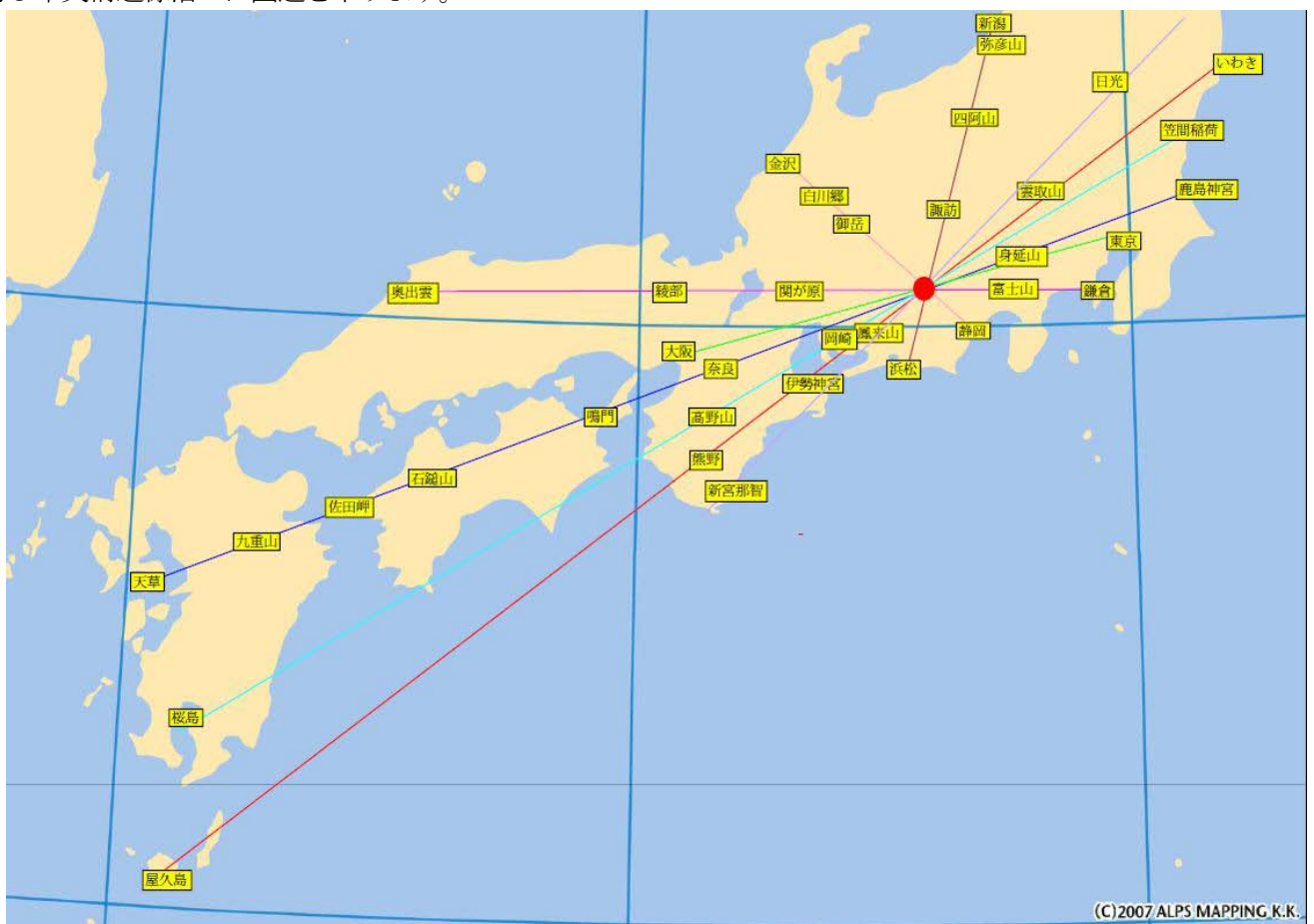
杭峠 (標高 1424 メートル) です。ここは決して磁場がないわけではないのですが、非常に心地よい気が発せられている場所で、癒しを求める人々が全国から訪れます。

ここで各自ご持参のお弁当を食べた後、国道 152 号線を再び南下して、途中矢立木に寄ります。これは高さ 29 メートル、周囲 6.1 メートル、樹齢 5 百年のさわらの大木で、戦国時代から江戸時代初期にかけてこの地域を治めていた遠山氏が木の根元に矢を立てて弓の修練をした場所です。しかしあるとき、遠山土佐守の叔父、遠山新助景道がこの木に射込んだ矢から血が出て不吉を感じる事件があり、その帰りに新助は領民に襲われて殺されました。遠山郷に伝わる祭り、霜月祭りには遠山氏の霊を慰める面が出てきます。さらに南下して北川の露頭に立ち寄った後、大鹿村の鹿塩 (かしお) 温泉に行きます。

鹿塩温泉には、塩壺と呼ばれる場所から海の水と同じ濃度の井戸水が湧いていて、これを地元の方が釜に入れて薪で炊き、山塩と呼ばれる塩を作っておられます。この山塩は大変おいしいお塩で、一度食べたら止められないほどおいしいお塩です。あまり多くの量は生産できないのですが、日本列島のなかでここでしか作られていない山塩を是非お試し下さい。またこの海水と同じ濃度の井戸水は、科学的にどこから来たのかわかっていない塩水だそうで、中央構造線の神秘が感じられるお塩でもあります。

それからもう少し南下して、大鹿村営中央構造線博物館を見学します。ここには中央構造線を知るためのさまざまな展示があり、学芸員の方にお話をいただいて、日本列島の成り立ちから今日に至るまでの地学的な時間的スケールで日本を見ていただきたいと思います。

中央構造線博物館を出ると、再び国道 152 号線は険しい峠道になります。途中、安康の露頭を見学して、さらに上ると、やがて国道は人が歩くことすら難しい点線国道になります。しかしそのすぐ脇には隣の谷を上る林道が通っていますので、それを上って地蔵峠 (標高 1314 メートル) を経由して、再び中央構造線沿いに国道を下ります。



そして遠山川沿いに南信濃地区に入り、小道木 (こどうき) 地区で、できれば遠山川の河原で散策をしたいと思います。ここには河原に埋まっている埋没木があります。埋没木は今から 1300 年ほど前に一瞬の山崩れで埋没してしまった、当時の樹齢数百年のヒノキやケヤキの立ち木が近年露出した

ものです。ヒノキなどは今でもヒノキの香りが漂い、古代の木の命をそのまま感じることができます。さらにこの地区には、熊野神社があります。実は熊野神社の拝殿の前の地面に手をかざすと、不思議と気を感じます。それが何に由来する気かはわからないのですが、とにかく気の出る神社です。

そもそも遠山郷は上の地図のように、日本の多くの不思議な場所を直線で結んだ交点にあります。何か我々の知らないエネルギーが出ているのかもしれませんが。そして和田地区にある南信濃自治振興センターを見学します。ここは近年できた地域交流の中心施設で、ここには埋没木の解説があるほか、遠山郷で伐採された7種類の見事な巨木が建物の前面に並べられています。

そして、今日一日の疲れをいやすべく、遠山温泉郷かぐらの湯に行きます。かぐらの湯は遠山郷に沸く源泉 43 度の高濃度塩化物温泉で、豊富な湯量と熱いお湯で、疲れを癒していただきます。

お泊りは中央構造線沿いに国道 152 号線をさらに南に下った此田（このた）地区にある民宿このたです。ここはもう少し南に下ると国道 152 号線の最大の難所青崩峠で、峠の下に青崩峠道路を作る計画が進められています（現在は青崩峠を迂回する兵越（ひょうこし）峠が車の往来に使われています）。そして宿の前でも青崩れの名にふさわしく、青緑色の崖を見ることができますし、地面にも青緑色の石を多数見ることができます。民宿このたでは、野菜もきのこも雑穀も、調味料に至るまですべて自家製のものを使った、お母さんと若旦那さん手作りのこだわりの料理を堪能していただきます。郷土料理・創作料理のレパートリーも多く、常連さんを飽きさせません。窓から眺める小嵐溪谷も絶景です。

そしてお食事は、地元の方々との懇親会を兼ねています。都会の人にも物怖じしない遠山郷の皆さんと交流してください。遠山郷の皆さんもお客様と話すことがとても楽しいようです（なお、お申し込み多数の場合、後からお申し込みの方には、懇親会のあと、此田よりも標高の低いところにある八重河内地区のいろいろの宿島畑に分宿していただきます）。

二日目はまず、みんなで此田地区を散策します。ここから見える雄大な山々と急峻な地形をお楽しみください。そして再び和田地区まで戻って、龍淵寺に行きます。龍淵寺は先述の遠山氏の菩提寺で、境内にある遠山氏のお墓の後ろには樹齢 500 年の見事な杉の巨木があります。さらに龍淵寺の境内にコンコンと湧き出す観音霊水は、日本全国の名水のなかで最もカルシウムとマグネシウムの含有量の多いお水で、硬水ながらとても飲みやすいお水を求めて、全国から人が集まってきました。このお水も中央構造線の恵みだと思えます。どうぞ参加者のみなさんもペットボトルやポリタンをご用意いただいて、おいしいお水を持って帰ってお楽しみ下さい。

さらに観音霊水のすぐそばには、殿町の茶屋というお店があって、名物のふじ姫饅頭を売っています。地元の女性が経営しているこのお店は、知る人ぞ知るお饅頭屋さんで、とてもおいしい手作りのお饅頭を、心温まるおもてなしと共にご案内することができます。そして大抵は午前中で売り切れになり、外部では一切買うことができない貴重なお饅頭です。

それから今回、遠山郷枯山水体験研修を開催する旧木沢小学校に行きます。旧木沢小学校は平成 11 年に廃校となった地元の小学校ですが、地元の方が保存して地域活性化施設として多目的に利用されています。校内には南アルプスの登山、かつて遠山川沿いに走っていた森林鉄道、地元で伝わる伝統の祭り、霜月祭りなどの展示があるほか、往時の教室が再現されていて、一日体験入学など、さまざまな行事に使われています。また図書室には藤原直哉の蔵書約 3 千冊が寄贈されて、藤原文庫と命名されています。遠山藤原学校の事務所も木沢小学校のすぐ隣にあり、遠山藤原学校観光農園も併設されています。

旧木沢小学校では展示物を見学した後、遠山郷枯山水体験研修を開催します。枯山水というのは、水のない、石や砂などで作るお庭のことで、講師は遠山郷で個の花を咲かせよう会の幹事で、愛知県で造園業を営まれる、久志公洋さん。今回は一人づつコンパクトな植木鉢に、前日の研修中に各自選んで拾っていただいた石を使って、鉢植え庭園の枯山水を実際に創っていただきます。なお、遠山郷で個の花を咲かせよう会とは、遠山郷が好きで遠山郷にしばしばお出での方で、何かご自分の得意技をお持ちの方、得意技をお持ちになりたいとお思いの方で作る会です。私も会員だ！と言えば自動的に会員になれる会です。まさに遠山の大自然の中で、中央構造線の石を生かして、自分だけのお庭を創っていただきます。デジタルではないアナログの世界、「見立て」による自然を楽しんでいただきたいと思えます。

そしてお昼は、旧木沢小学校あるいは梨本でいしゃばという施設でみなさんとバーベキューやなべ料理を楽しみます。それから旧木沢小学校で藤原直哉が『激動の時局と日本の未来』というタイトルで講演をさせていただきます。そして午後3時45分に現地解散となります。

今回も盛りだくさんの内容ですが、縁ある数多くの方々に中央構造線や枯山水、遠山郷の自然、そしてそのなかで生きる喜びを味わっていただき、中央構造線と枯山水と遠山郷のファンになって、21世紀を明るく元気に生きるための、たくさんの知恵と実力を得ていただきたいと思います。

2010年3月吉日

シンクタンク藤原事務所

所長・経済アナリスト 藤原直哉

遠山郷枯山水体験研修 『石との戯れ』

日本を代表する作庭家、重森三玲氏は次のような言葉を残しておられます。

庭をもつことは、自然の一部を持有することです

もし日本だけの純粋な、そして、独特な芸術を求めるとすれば、庭園と生け花が、最たるものです。その数、質、歴史において日本ほど傑出した庭園国は世界にない。重森三玲

本当にそのとおりでと思います。そしてそのなかでも枯山水という庭園は、最も日本らしいお庭ではないでしょうか。枯山水にもいろいろありますが、今回皆さんに創っていただきますのは、石、土、白砂、そして遠山郷の苔を使った枯山水の鉢植え庭園です。材料はすべて自然のものを使った、自分だけの庭園です。

実にロハスそのものだと思いますか？

たったこれだけですが、石の据え方ひとつで全然ちがうのです。

石には顔があります。表情があります。石の扱い方ひとつで微妙に変化します。

また、各石の配置、あしらい方で相乗効果が生まれ、庭園全体がすばらしくなります。

そうです。リーダーシップとも通ずる部分があるのです。

基本的な石の知識と作法を覚えれば、だれでも簡単に作庭できます。

しかし同時にとても奥が深く、際限がありません。ですからとてもおもしろいのです。とても癒されます。

先の重森氏の言葉は、現代風に直しますと、「**庭をもつことは、自然の一部を持有し、自然と共生することです**」、という意味になるのではないのでしょうか。

中央構造線と遠山郷のどこにでもある石を使って、世界にひとつだけの、あなたの枯山水庭園を作庭してみましよう。

是非ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2010年3月吉日

遠山郷で個の花を咲かせよう会 幹事

株式会社大喜造園土木

代表取締役 久志公洋

久志 公洋 (くし きみひろ) 略歴

株式会社大喜造園土木 代表取締役

〒496-0905

愛知県愛西市北一色町証文220-23

TEL 0567-24-4513 Fax 0567-24-4594

E-mail : soyogo@a-niwa.com

homepage : <http://www.a-niwa.com>

昭和32年 愛知県名古屋市生まれ

昭和50年 愛知県立稲沢高等学校造園土木科卒業

東海園株式会社入社

主に民間工事統括責任者として工場緑化・街路緑化・公園築造・公共施設の緑化・住宅庭園・茶室作庭などあらゆる造園工事に従事

昭和63年 株式会社大喜造園土木代表取締役

～現在 10年ほど前より、「人にやさしい・地球にやさしい」をモットーに無農薬・無化学肥料でのお庭造り・メンテナンスを推奨しています。






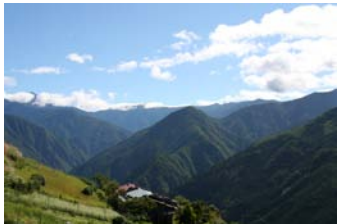
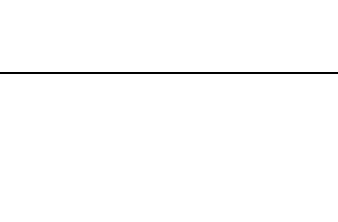
体験研修の内容

- 1) 簡単な庭の歴史と形式
池泉遊舟式庭園、池泉回遊式庭園、書院などからの鑑賞式、枯山水、路地（茶庭）
- 2) 自然の材料と芸術的な構成
自然の材料と人工的材料、材料を選ぶこととは、庭の芸術的な構成とは
- 3) 岩石の種類と特徴
名石よりありふれた石に価値を
全国各地の庭石
庭石の名称（花崗岩（御影石）、青石（結晶片岩）、安山岩、赤玉石、凝灰岩）
- 4) 石の表情とは
石には顔がある
石の各部分の名称
（天端・角・段、鼻・顎・見つき、見込み・根張り、頭・胴・腰・脚・肩）
- 5) 石を回して変化する石の表情
- 6) 根入れの深さで変わる石の表情
- 7) 実習（作庭）

なお、お作りいただいた枯山水をお持ち帰りいただくための宅配パックもご用意しております。宅配パックに梱包してお車に積んでお持ち帰りいただけます。また、実費にて宅配便で発送することも可能です。

< 2、研修日程 >

5月1日（土）

時間	予定		写真
9:30	出発	長野県諏訪市中洲神宮寺 188、諏訪大社上社本宮近く、 ドライブインこだわり横丁前駐車場（県道16号線沿い） から自家用車に分乗して出発 ・電車 JR中央線茅野駅下車 タクシーで約10分 ・自家用車 中央高速道諏訪インターチェンジから車で約10分	 杖突峠
9:45	到着	杖突峠	
9:50	出発		
10:15	通過	高遠	
10:30	到着	中央構造線公園（溝口の露頭）	
10:45	出発		
11:00	到着	分杭峠、各自ご持参のお弁当で昼食	
12:00	出発		
12:35	到着	矢立木	
12:40	出発		
12:45	到着	北川の露頭	
12:50	出発		
13:10	到着	鹿塩温泉・塩の里	
13:35	出発		
13:40	到着	中央構造線博物館	
14:40	出発		
15:00	到着	安康の露頭	
15:30	出発		
16:15	到着	熊野神社（気の出る神社）、小道木の埋没木	しらびそ高原（夏）
16:45	出発		
16:50	到着	南信濃自治振興センター	
16:55	出発		
17:00	到着	かぐらの湯	
18:00	出発		下栗の里（夏）
18:20	到着	民宿このた、夕食・懇親会	

5月2日(日)

時間	予定	写真
6:30	起床	
7:00	朝食	
7:30	此田地区散策	
8:00	出発	
8:20	到着	
9:20	出発	
9:30	到着	
10:00	講座	
12:00	終了	
12:15	昼食	
13:00	出発	
13:30	到着	
13:45	講演	
15:45	終了 解散	

殿町の茶屋(ふじ姫饅頭)

観音霊水

木沢小学校

梨元ていしやば

なお、道路に不通箇所があったり危険だったり悪天候の場合には臨機応変に迂回します。特に今回の行程では、分杭峠と、地藏峠から南信濃の間は、道や天気崩れると行かれなくなる可能性があるため、あらかじめご了承ください。

また山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。

< 3. 参加費用 >

参加費用 大人 1名	30,000円
子供 (小学生以下) 1名	15,000円
なお、お食事とお布団の事前のご用意が必要でない乳児は無料です	

(1) 参加費用に含まれるもの

・ 宿泊料金	原則として相部屋です。ご家族での一部屋でのお泊りはできる限り配慮させていただきますが、保証はできませんのでご容赦ください。宿泊は、 民宿 このた 〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内 1373 TEL 0260-34-5034 FAX 0260-34-5091 また、民宿このたに泊まり切れない場合には、以下の旅館に分宿 いろりの宿 島畑 〒399-1312 長野県飯田市南信濃八重河内 580 TEL 0260-34-2286 FAX 0260-34-2281 E-mail info@shimabata.com
・ 食事料金	日程表に記載された昼食1回、夕食および懇親会1回、朝食1回 (なお、子供料金にてご参加の方は、1日目の夕食がお子様定食になります)
・ 入館料 ・ 入浴料 ・ 講演料 ・ ガイド料	日程表に記載された博物館の入館料、かぐらの湯の入浴料、遠山郷枯山水体験研修および藤原直哉講演会の講演料、枯山水体験研修の材料費、旧木沢小学校管理費、ガイド料、下記保険料
・ コーディネーター	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉
・ 旅行保険	(限度額お一人様死亡障害4千万円)

(2) 参加費用に含まれないもの

・ 個人的性質の費用	一日目の昼食として 各自お弁当をご持参下さい タバコ、洗濯、電報電話、お酒・ジュース等の飲み物、お土産、個人の飲食などは個人負担をお願いします
・ 交通費	この旅行は参加者各位の自家用車で移動することを基本としています。その費用は各自でご負担下さい。 なお、電車でご参加の場合には、藤原事務所の車に分乗してご参加いただけます。その場合には、車の燃料代・整備費・現地までの回送費の一部として、大人お1人様につき、1千円をお支払い下さい。

< 4. 参加要領 >

募集人員	<p>20名（最小催行人数：5名） なお、先着順にお申し込みをお受けし、定員になり次第締め切ります。 参加申込書をシンクタンク藤原事務所宛てにお送りください (FAX または郵送)</p>											
旅行代金	<p>2010年4月23日（金）までに、旅行代金の全額を以下の口座へお振込みください。 郵便局 記号：10250 番号：89520371 口座名義：有限会社藤原事務所 または、 ゆうちょ銀行（郵便局） 店名：〇二八（ゼロ二ハチ） 店番：028 預金種目：普通預金 口座番号：8952037 口座名義：有限会社藤原事務所</p>											
取消料	<p>お申し込み後、お客様の都合でお取り消しになる場合、当方の手続きを開始または完了している場合は、次の取消料を申し受けます。</p> <table border="1" data-bbox="483 1066 1378 1319"> <tr> <td data-bbox="483 1066 1086 1149">出発日の前日より起算して1ヶ月前まで</td> <td data-bbox="1086 1066 1378 1149">大人1万円 子供5千円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1149 1086 1189">出発日の前日より起算して2週間前まで</td> <td data-bbox="1086 1149 1378 1189">参加費用の40%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1189 1086 1229">出発日の前々日および前日</td> <td data-bbox="1086 1189 1378 1229">参加費用の50%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1229 1086 1270">出発日の当日又は無連絡不参加の場合</td> <td data-bbox="1086 1229 1378 1270">参加費用の80%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1270 1086 1319">旅行開始後</td> <td data-bbox="1086 1270 1378 1319">参加費用の100%</td> </tr> </table>		出発日の前日より起算して1ヶ月前まで	大人1万円 子供5千円	出発日の前日より起算して2週間前まで	参加費用の40%	出発日の前々日および前日	参加費用の50%	出発日の当日又は無連絡不参加の場合	参加費用の80%	旅行開始後	参加費用の100%
出発日の前日より起算して1ヶ月前まで	大人1万円 子供5千円											
出発日の前日より起算して2週間前まで	参加費用の40%											
出発日の前々日および前日	参加費用の50%											
出発日の当日又は無連絡不参加の場合	参加費用の80%											
旅行開始後	参加費用の100%											
企画・監修（お問い合わせ）	<p>シンクタンク藤原事務所 〒250-0055 神奈川県小田原市久野849-10 電話 0465-32-1791 FAX 0465-32-1794 電子メール higuchi@fujiwaraoffice.co.jp 担当 樋口敬子（ひぐち けいこ）</p> <p>なお、当日の緊急連絡は、藤原直哉の携帯電話へお願いします。 <u>090-3046-6354</u></p>											

< 5. 研修概要 >

・ 研修名称	第8回 遠山藤原学校ー中央構造線・遠山郷枯山水体験研修ー
・ 日時	2010年5月1日（土）・5月2日（日）の2日間
・ 研修場所	長野県諏訪市から飯田市南信濃地区までの国道152号線
・ 集合・解散場所	現地 集合：1日（土）9：30 長野県諏訪市中洲神宮寺188、諏訪大社上社本宮近く、ドライブインこだわり横丁前駐車場（県道16号線沿い） 解散：2日（日）15：45 飯田市南信濃木沢旧木沢小学校
・ 研修内容	各種見学、体験、講演など
・ コーディネーター	シンクタンク藤原事務所 藤原直哉

< 6. 集合・解散場所まで／からの交通手段（ご参考） >

(1) 自家用車でお越しの場合	集合場所： 長野県諏訪市中洲神宮寺188、諏訪大社上社本宮近く ドライブインこだわり横丁前駐車場（県道16号線沿い） 中央高速道 諏訪インターチェンジから約10分 解散場所： 長野県飯田市南信濃木沢旧木沢小学校 中央高速道 飯田または松川インターチェンジまで 約1時間。または、兵越峠経由、東名高速道 浜松インターチェンジまで、約2時間半。
(2) 電車でお越しの場合	東京方面から （行き） 新宿 7：00 スーパーあずさ1号 茅野 9：08 下車後タクシーで10分 長野県諏訪市中洲神宮寺188、諏訪大社上社本宮近く ドライブインこだわり横丁前駐車場（県道16号線沿い） （帰り） 平岡 16：43 特急伊那路4号 豊橋 18：31 豊橋 18：43 ひかり526号 東京 20：10

< 7. 注意事項、および持ち物など >

- ・ 一日目の昼食として、**各自お弁当をご持参下さい。**
- ・ 道路に不通箇所があったり危険だったり悪天候の場合には臨機応変に迂回します。
- ・ 特に今回の行程では、分杭峠および地蔵峠と南信濃の間は、道や天気が崩れると行かれなくなる可能性があるため、あらかじめご了承下さい。
- ・ 山道のため、自家用車の運転や乗り物酔いにはくれぐれもご注意ください。
- ・ 乗り物酔いをご心配の方は、酔い止め薬を服用されることをお勧めします。
- ・ この季節の国道152号線沿いはまだ寒いので、防寒用のセーターやコートなどをお持ちください。
- ・ 観音霊水を汲んで帰られる方は、ペットボトルやポリタンをご用意下さい。
- ・ なお、携帯電話は、電波が届かない場所があります。

申 込 書

5月1日・2日 中央構造線・遠山郷枯山水体験研修

ご記入日： 年 月 日

どちらかを選択してください ・ 自家用車でご参加 ・ 電車でご参加 (藤原事務所の車に分乗)

フリガナ		性別	男 ・ 女	
お名前		生年	明・大・昭・平 (西暦 年)	
		月日	年 月 日 (満 歳)	
弊社お客様番号 (おわかりになる場合)				
フリガナ		性別	男 ・ 女	
お名前	続柄		生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
			月日	年 月 日 (満 歳)
フリガナ		性別	男 ・ 女	
お名前	続柄		生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
			月日	年 月 日 (満 歳)
フリガナ		性別	男 ・ 女	
お名前	続柄		生年	明・大・昭・平 (西暦 年)
			月日	年 月 日 (満 歳)

■ ご連絡先について

ご自宅 会社・学校 ※どちらかにチェックをおつけください。

※ご連絡先が「会社・学校」の場合にご記入ください。

会社名 学校名等	部署： _____ 役職： _____		
ご連絡先 住所	〒 _____		
TEL	() _____	FAX	() _____
携帯電話	緊急時 連絡可・不可		
電子メール	_____ @ _____		
喫煙の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※部屋割りの参考にさせていただきます。		

●その他ご希望等ございましたらご記入ください。

シンクタンク藤原事務所 担当：樋口敬子 〒250-0055 神奈川県小田原市久野849-10
TEL 0465-32-1791 E-Mail higuchi@fujiwaraoffice.co.jp

↑ FAX送信先：0465-32-1794 ↑